



市民が行う環境調査の重要性

～多摩川一斉水質調査の意義～

美しい多摩川フォーラム副会長の小倉紀雄・東京農工大学名誉教授が提唱する「市民環境科学」は、身近な河川の水質調査の意義について、

- 市民自らが水環境を調査し、その実態を把握することができ、水環境について考えるきっかけになる
- 調査した結果に基づいて、必要に応じ水環境の保全・修復の実践活動を行うことができる
- 子どもたちが調査に参加することにより次世代へ繋げることができる

としています（参考文献：小倉紀雄『市民環境科学への招待』2003年）。

当フォーラムが取りまとめている多摩川流域水質マップも、こうした考え方に基づいて作成されており、「多摩川一斉水質調査に向けて・成果報告書（2008年3月）」で、その意義が詳しく述べられています。



● 調査日と地点数

調査日(6月)	2日	3日	4日	5日	6日	12日	15日	合計
地点数	15	10	21	325	21	1	1	394



● 温度

気温	12~32°C
測定結果	地点数
5°C未満	0
5~10°C未満	0
10~15°C未満	3
15~20°C未満	24
20~25°C未満	193
25°C以上	152

水温	9~26°C
測定結果	地点数
5°C未満	0
5~10°C未満	2
10~15°C未満	42
15~20°C未満	187
20~25°C未満	137
25°C以上	4

*気温及び水温は未測定地点もあるため総地点数と必ずしも一致しません。

CODって何？

『水の中にふくまれている有機物によるよごれを数値であらわしたものです。』

COD (mg O/L)	川のきれいさ	どんな魚や生きものがすめるのかな？(目安)
0~3未満	きれい	ヤマメ・イワナ・アユ・サワガニ・カワゲラ・ヘビトンボ
3~6未満	ややよごれている	フナ・コイ・ヒラタドロミシ・コオニヤンマ・カワニナ
6以上	よごれている	魚は苦しくてすみたくない・ヒル・タニシ・アメリカザリガニ

(浅川市民フォーラム作成マップから引用)

調査団体(個人参加を含む)一覧(順不同)

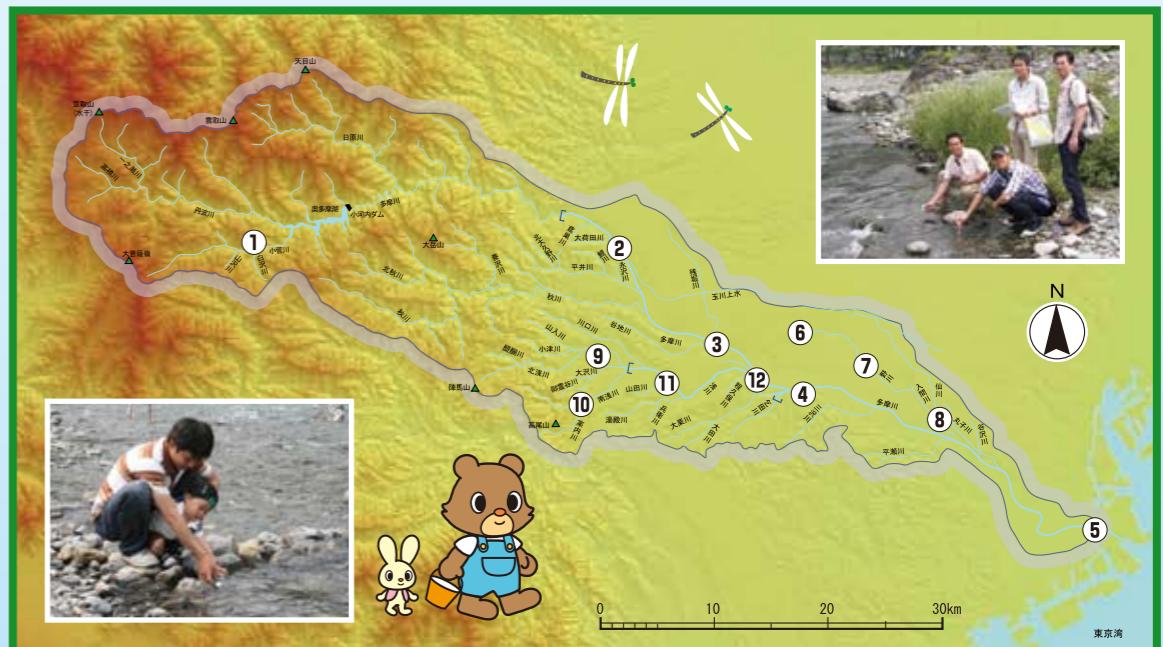
環境白門会／浅川流域市民フォーラム／八王子ランドマーク研究会／八王子中央地区環境市民会議／谷地川探検隊／八王子に清流を取り戻す市民の会／多摩市水辺の楽校運営協議会／日野市環境共生部 緑と清流課／八王子市東南部環境市民の会／浅川潤徳水辺の楽校／程久保川を考える会／八王子市北部環境保全推進地区市民会議／夕焼け小焼けエコミュージアム／日野市消費者運動連絡会／Kie & Koki／八王子西南地区環境市民会議／東京都山岳連盟自然保護委員会／浅川勉強会／東京NPO-21研究所／株式会社SRL遺伝子・染色体解析センター／八王子市西部地区環境市民会議「元八地区」／八王子東部地区環境市民会議／NPO法人環境活動センター八王子／日野市の会／都立日野高校／ドラマリグループ／日野の自然を守る会／せたがや野川の会／はむら水と緑の会／玉川上水ネット／社団法人全国上下水道コンサルタント協会関東支部／府中かんきょう市民の会／福生水辺の楽校運営協議会／東京農工大学 FM多摩丘陵／あきしま水辺の楽校／井の頭・神田川を守る会／水の懇談会／昭島環境遺産の会／国分寺みずっこクラブ／狛江水辺の楽校／狛江市環境を考える会／身近な川の一斉調査実行委員会／小金井クリーン野川研究会／多摩科学技術高校／美しい多摩川フォーラム／青梅・多摩川水辺のフォーラム／おさかなポストの会／ガサガサ水辺の移動水族館／法政大学水文地理学研究室／パックテスト共の会／玉ごっちーず／国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所／二ヶ領用水ウォッティングフォーラム／個人参加 7名

*多摩川一斉水質調査は東急百貨店ココエコチャリティー事業からの支援を受けております。

● 調査河川と測定地点数

調査河川	地点数
多摩川	122
逆川	4
染地川	0
平瀬川	1
谷沢川	2
谷戸川	0
丸子川	2
野川	33
仙川	2
矢川	3
乞田川	2
浅川	27
南浅川	2
北浅川	13
倉沢川	0
根川	3
大栗川	8
鑓水川	1
案下川	1
案内川	2
寺沢川	2
御靈谷川	2
川口川	6
大沢川	9
南の沢	0
小仏川	0
城山川	5
残堀川	4
山田川	8
小津川	0
大棚川	3
大田川	2
醍醐川	2
谷地川	8
程久保川	6
殿ヶ谷戸川	1
湯殿川	11
寺田川	1
入山川	1
兵衛川	2
野堀川	3
平井川	2
日原川	2
三頭沢	0
秋川	4
平溝川	2
入川	1
寸庭川	1
海沢川	1
小菅川	2
大丹波川	3
丹波川	2
玉川上水	19
用水(分水)	34
湧水	9
その他(池・井戸)	8
合計	394

多摩川一斉水質調査2004年からの移り変わり



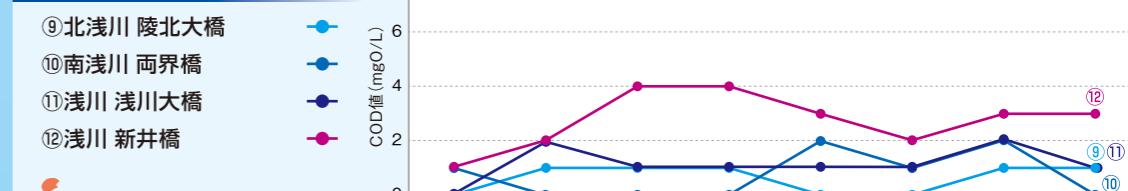
多摩川本流



野川



浅川



美しい多摩川フォーラムでは、「多摩川一斉水質調査」の準備段階として、市民による水質調査の状況を知るために、2007年に得られたCODデータから水質マップを作成し、2008年から本格的な水質調査を開始しました。
今回の調査では、2004年にスタートし、2007年から当フォーラムと連携している「身近な水環境の全国一斉水質調査」の過去のCODデータを引用させていただき、多摩川の水質状況の推移を表す上掲のグラフを作成しました。昨年のマップ同様、継続調査的重要性や市民モニタリングの意義がこのグラフからもうかがえます。
毎年、多摩川水系の300~400地点で調査が実施され、多摩川本流、浅川、野川の全域からピックアップした地点のCODデータの推移を見ると、水質は上流部のほうが良好であり、また、それぞれの地点での傾向もわかります。データの蓄積により、異常値が発生した場合でも、その時に記録された河川の状況や天候状況等を調べることにより、原因究明に向けて、迅速な対応が市民レベルでも行えます。

《発行日》 2011年11月1日
《発行者》 美しい多摩川フォーラム
(事務局: 青梅信用金庫 地域貢献部 内)
〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地
tel: 0428-24-5632 fax: 0428-24-4650
e-mail: forum@tama-river.jp
《編集》 小倉紀雄、倉宗司、佐山公一、高橋克彦、本間君枝(五十音順)
《協力》 全国水環境マップ実行委員会
事務局 みどりみどり研究会 内
〒185-0021 東京都杉並区南町2-1-28 飯塚ビル202
tel/fax: 042-327-3169 e-mail: mizutomidoriken@yb.ne.jp
《マップ製作》 国際航業株式会社

第4回 多摩川一斉水質調査
多摩川流域の水質マップ(COD)

2011年6月5日(日)実施
第8回身近な水環境の全国一斉調査と連携



凡 例	
●	0～3mgO/L未満
○	3～6mgO/L未満
●	6mgO/L以上

